



平成25年 7月12日

	観光振興課
担当者	石井、吉田
内線	2645
ダイヤルイン	895-2645

### 「長崎県観光動向調査」について

本県の平成25年1～3月期における観光動向について、別添のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

本県では、観光客数の動向（トレンド）を適宜把握する目的で、年1回公表の「長崎県観光統計」とは別に、観光動向に関する調査を実施し、3ヵ月毎にその結果を「長崎県観光動向調査」としてお知らせしております。

調査概要の詳細は別添資料をご参照願います。



## 長崎県観光動向調査 (平成25年1～3月分)

### 主要指標

平成25年1～3月

	対象施設	延宿泊客数 利用者数	H25-H24比較	
			増減率	増減数
主要宿泊施設	161	1,025千人	+12.4%	+113千人
主要観光施設	26	1,781千人	+22.9%	+332千人

### 概況

主要宿泊施設の宿泊客数は、過去最高となる101万人の集客を記録した長崎ランタンフェスティバルや、ハウステンボスの1000万球のイルミネーション「光の王国」、「雲仙灯りの花ぼうろ」といった、「光と灯り」をテーマにした誘客効果が県内に広がったことなどから、1～3月期全体では対前年同期比+12.4%と大幅に増加した。

主要観光施設の利用者数は、「光の王国」の効果などによってハウステンボスの集客が大幅に増加したことや、ランタンフェスティバル期間中に長崎市内の観光施設で集客増がみられたことなどから、1～3月期全体で対前年同期比+22.9%と大幅に増加した。

## ブロック別の主な増減要因

### 【長崎・西彼ブロック】

ランタンフェスティバル期間中の休日が多く、来場者数が過去最高の101万人を記録したことや、長崎市の夜景が平成24年10月に世界新三大夜景認定されたことを機に、宿泊客の増加がみられたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+6.8%となった。

### 【佐世保・西海・東彼・北松ブロック】

「光の王国」や「チューリップ祭」といったイベントの展開などにより、ハウステンボスの集客が大幅に増加したことに加え、市街地においても団体客の増加がみられたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+28.5%となった。

### 【平戸・松浦ブロック】

団体客、ツアー客の減少がみられたものの、一部宿泊施設においてビジネス客が増加したことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+1.2%となった。

### 【諫早・大村ブロック】

ビジネス客が増加したことや、スポーツ大会の開催に伴う団体宿泊客が増加したことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+11.3%となった。

### 【島原半島ブロック】

「光と灯り」をテーマにしたキャンペーンの奏功により、団体客が増加したことや、スポーツ関係の宿泊客の増加がみられたこと、前年に比べ天候に恵まれたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+6.6%となった。

### 【五島ブロック】

一部宿泊施設で団体客の減少がみられたことや、ビジネス客の減少がみられたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比-6.1%となった。

### 【壱岐ブロック】

一部宿泊施設で団体客の減少がみられたものの、改装工事のため休業していた宿泊施設が営業を再開したことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+7.7%となった。

### 【対馬ブロック】

円高ウォン安傾向の緩和により、対馬を訪れる韓国人に引き続き増加がみられたことなどから、1～3月期全体の宿泊客数は対前年同期比+0.5%となった。

### (参考) 外国人観光客の動向(ご協力いただいた施設のみのサンプル調査)

円高傾向の緩和により、韓国や台湾の団体客が増加したことや、ビジネス客の増加がみられたことなどから、1～3月期全体の外国人宿泊客数は、対前年同期比+9.9%となった。





